



平成27年4月30日

各位

会社名 **ダイビル株式会社**
 代表者名 代表取締役社長執行役員 山本 竹彦
 (コード: 8806、東証第1部)
 問合せ先 執行役員 人事・総務部長 下川 浩志
 (TEL. 06 - 6441 - 1932)

剰余金の配当(増配)に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成27年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成26年4月30日公表)	前期実績 (平成26年3月期)
基準日	平成27年3月31日	同左	平成26年3月31日
1株当たり配当金	7円00銭	6円00銭	7円50銭 (普通配当6円00銭) (記念配当1円50銭)
配当金総額	816百万円	—	874百万円
効力発生日	平成27年6月26日	—	平成26年6月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、財務体質の強化と将来の事業展開のために必要な内部留保の充実を図りながら、業績の推移を踏まえつつ安定的な配当を実施することを基本方針としております。

当期(平成27年3月期)におきましては、「新ダイビル」竣工および「コーナーストーン・ビルディング」取得など国内外で事業は順調に拡大し、連結で期初の予想を上回る当期純利益を確保いたしました。また、次期(平成28年3月期)におきましては、営業収益は三期連続で過去最高を更新し、当期純利益は当期(平成27年3月期)並みを計上する見込みであります。

つきましては、当期(平成27年3月期)の1株当たり期末配当は、株主の皆様への利益還元のため、直近の配当予想(6.0円)から1.0円増配し7.0円とする予定であります。従って、年間の1株当たり配当金は13.0円(中間6.0円、期末7.0円)となります。

なお、本件につきましては、本年6月開催の定時株主総会に付議する予定であります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末(中間)	期末	合計
次期予想(平成28年3月期)	7円00銭	7円00銭	14円00銭
当期実績(平成27年3月期)	6円00銭	7円00銭	13円00銭
前期実績(平成26年3月期)	6円00銭	7円50銭 (普通配当6円00銭) (記念配当1円50銭)	13円50銭 (普通配当12円00銭) (記念配当1円50銭)

次期(平成28年3月期)の中間配当は、前年同期に比べ1.0円増配し7.0円とし、期末配当7.0円と併せ、年間配当14.0円とする予定であります。

以上